

ほけんだより 11月

江南市立
古知野北小学校

R3. 11. 8

気温差の大きい季節です

11月に入り、気持ちのよい天気が続いています。暑くもなく、寒くもなく過ごしやすい日々ですね。でも、朝晩の冷え込みは徐々に厳しくなってきた気配も感じます。衣類の調節を上手にして、かぜをひかないように気をつけましょう。



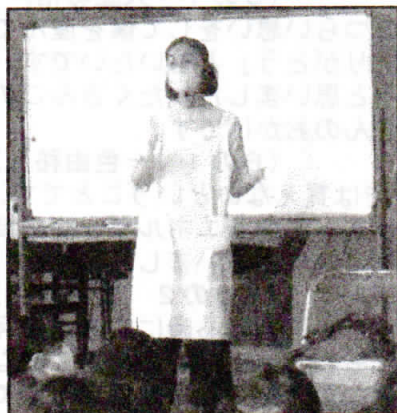
第2回学校保健委員会を終えて

テーマ「いのちってすごい！」

～自分も大切、みんなも大切、そして今を大切に～



10月28日(木)に、「生」教育助産師グループOHANA(オハナ)より、坂井桃子先生を含む3名の助産師さんを講師として迎え、学校保健委員会を行いました。6年生児童を対象に75分のいのちの授業をしていただきました。4年生の保健の授業で「おとなの体になるじゅんぴ」という題材で学習していますが、今回はさらに詳しく、神秘的な映像を見たり、感動的な話を聞いたりして、充実した時間を過ごすことができました。内容の一部を紹介します。



… 授業の流れ …

- 1 2次性徴について
体の変化、心の変化、プライベートゾーン
- 2 受精卵から始まる命
胎児の成長、妊婦体験、
- 3 出産の経過
生まれようとする力、産み出す力
- 4 新しい命を迎えた家族の思い



◆心の变化の内容より(ホルモンの理解)

～反抗期について～

- ・「反抗期」は心の成長にとって大切な成長の1つ
- ・思春期は心のかぜをひきやすい時期
- ・「反抗期」は、心が弱いわけではない
- ・「反抗期」の過ごし方のおすすめ
だれかに話を聞いてもらう
(お金のかからない万能薬)



◆ 4か月から10か月の胎児人形のだっこ体験
「けっこう重たいのでびっくり。」

◆ 胎盤からへその緒でつながった胎児の体験
「へその緒を切る時、痛くないんだって。」

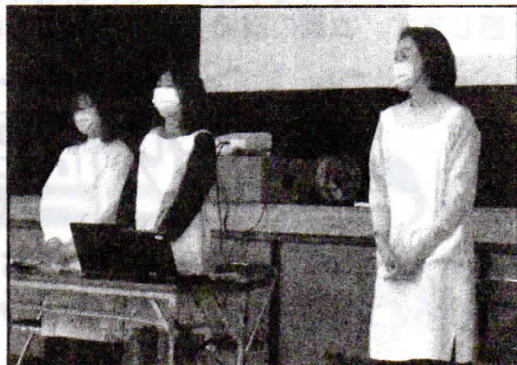
◆ 8kgの妊婦ジャケットをつける体験
「腰が痛い。お母さんはたいへん。」

◆助産師の先生から皆さんへ「いのちのお願い」

今ある命は、皆さん1人1人が、自分で生まれようとする力を振り絞ってがんばって生まれてきた命です。皆さんの命は他の誰にも変わるものではありません。皆さんが、今こうして生きていることが、もうすでに100点満点です。生きることが、楽しいことばかりではありません。辛いこと、悲しいこと、色々なことがあります。でも、その経験1つ1つが皆さんを育てます。そんな自分の命、どうか大事にしてください。皆さんの命は世界で1つです。同じ命はありません。最後に「命の5つの宿題」を出します。

「生」教育助産師グループOHANA
(オハナ)の講師の助産師さん

- ① 自分の生きる今を信じましょう
→ 奇跡の命であることが確認して。
- ② 自分の人生を精一杯生きていきましょう
→ 寿命をまっとうする大切さを理解して。
- ③ 「自分らしさ」を大事にしましょう
→ 自分にできること、自分の得意なことを1つでも多くみつけましょう。
- ④ 育ててくれている周りの人に「ありがとう」の感謝の気持ちをもちましょう。
- ⑤ 誕生日は「いのちの記念日」
として、命についての思いを深めましょう。



《児童の感想》

- 私は、今まで他の人の命は大切に、自分の命はそうでもないと思っていました。でも今回お話を聞いて、自分の命も大切なんだ、と思うことができました。私はほとんど毎日、親に反抗してしまいます。お姉ちゃんも弟もあまり反抗しないので、自分を悪く追い詰めてしまうことがあります。でも、お話を聞いて反抗は悪いことではないと思うことができ、気持ちが少し楽になった気がします。これからも、自分の命も他の人の命も大切にしていきたいと思います。
(6の1 辻村心花)
- 命は、精子が1つの目標を目指して、地球から月へ行く位の距離を、力と運により旅をして、それを持ちこえた先に命が始まるということが、壮大で心に残りました。赤ちゃんを抱く体験もしました。重たくて、これが長い間お腹に入っている状態にいる母親はすごいと思いました。
(6の1 大脇彰悟)
- 何人かの親からのメッセージが、心にひびきました。このくらいつらい思いをして僕を産んでくれたんだなあと思いました。今日家に帰ったら、あらためて「ありがとう」と言いたいです。映像を見て、女の人はいたいへんだなあと思い、たくさんありがとうございました。たくさんごめんと思いました。今こうして生きていけるのも、お父さん、お母さんのおかげです。
(6の1 一色由祐人)
- 私が1番心にひびいたことは、命はなくなってもどらない、お金では買えないということです。分かっているけど、改めてそうだなと思いました。赤ちゃんはエベレストを登るエネルギーが必要で、お母さんも富士山を登るエネルギーが必要なので、どちらもすごいなと思いました。
(6の2 野呂春陽)
- 陣痛の時、赤ちゃんはしめつけられて苦しいことは知っていたけど、産まれる時に向きを変えたりして、一生懸命出てこようとしていることを知りました。誰にも教わってないのにすごいなあと思いました。私の将来の夢は助産師なので、今日の授業で知らなかったことも知ることができてよかったです。がんばって産んでくれた母親に感謝しないといけないと思いました。これからも、自分の命、他の人の命を大切にしていこうと思います。
(6の2 青山加奈)
- 命の宿題の「自分を信じる」という言葉がとても心に残りました。僕はラグビーを習っていて、もうすぐ、全国大会に行けるかもしれない大事な大会があります。しかし、僕はタックルが苦手です。でも今回聞いた「自分を信じる」という言葉を胸にもち、タックルをがんばりたいと思います。
(6の3 林 遼河)
- 私は母から、とても優しい助産師さんたちがいて、安心して出産することができたと聞きました。助産師さんが、どんなに大切かも知ることができました。出産は必ず成功するとは限らないので、流産したり、おなかの中で亡くなってしまったりすることもあるけど、それと向き合って支えることのできる助産師さんはすごいと思いました。自分が産まれる確率があんなに少ない(700兆分の1)とは思ってなかったのびっくりし、自分の命はきせきなんだなと思いました。
(6の3 石坂優愛)

